平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場会社名　神東塗料株式会社　　上場取引所　大
コード番号　4615　URL　http://www.shintopaint.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 宮脇　一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役(経理担当)　(氏名) 波多野　健　TEL 06-6429-8474

四半期報告書提出予定日　平成24年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	16,358	5.3	567	10.4	630	△0.2	261	△16.7
23年3月期第3四半期	15,537	9.4	513	72.5	631	68.6	314	59.8

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　904百万円　(171.4%)　23年3月期第3四半期　333百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	8.45	―
23年3月期第3四半期	10.14	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	33,777	13,374	38.6
23年3月期	32,965	12,607	37.4

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　13,040百万円　23年3月期　12,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	4.00	4.00
24年3月期	―	0.00	―		
24年3月期(予想)				4.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	3.0	650	1.6	800	1.3	460	21.0	14.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	31,000,000 株	23年3月期	31,000,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	13,503 株	23年3月期	12,509 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	30,987,188 株	23年3月期3Q	30,988,083 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○目　次

１．当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・2

(1)　連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・3
(3)　連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・3

２．サマリー情報（その他）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・3

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・3
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・3
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・3

３．四半期連結財務諸表　・・・・・・・・・・・・・・・4

(1)　四半期連結貸借対照表　・・・・・・・・・・・・・・・4
(2)　四半期連結損益及び包括利益計算書・・・・・・・・・・・・・6
(3)　継続企業の前提に関する注記　・・・・・・・・・・・・・・8
(4)　セグメント情報等　・・・・・・・・・・・・・・・8
(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・9

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気停滞を脱したものの、歴史的な円高や欧州債務危機を発端とする海外経済の減速及びタイの洪水の影響、さらには前期から続く原材料価格の高騰などにより、依然として先行き不透明な状況で推移しました。当社グループにおきましてはこうした経済状況の中で新製品の開発による積極的な販売活動及びアジア市場での海外事業の展開とともに、コスト競争力の一層の向上を目指して取り組んでまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は16,358百万円（前年同四半期比5.3%増）となりました。損益面では、営業利益は567百万円（前年同四半期比10.4%増）、経常利益は630百万円（前年同四半期比0.2%減）、四半期純利益は261百万円（前年同四半期比16.7%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

（塗料事業）

アルミ電着塗料は期初では東日本大震災の影響によりユーザーの操業低下による影響が見られましたがその後、早期に回復し、戸建着工や改修工事などが順調に推移しました。

また、当第３四半期に入って主力ユーザーのタイ現地工場が洪水の影響を受けたことから、復旧までの間、国内の工場へシフトし、増産体制に入ったことによる出荷量の増加等により、売上は増加いたしました。

工業用電着塗料は季節変動による影響により、家電製品など一部のユーザーで在庫による操業低下が見られたものの、建材、鋼製家具、自動車部品向けの出荷は堅調に推移し、売上は増加いたしました。

粉体塗料は新規ユーザーの獲得及び既存ユーザーでの大口新規ラインの獲得と輸出用自動車向けブレーキパット用塗料の出荷量などが増加したことから、売上は好調に推移いたしました。

工業用塗料は東日本大震災の影響を受けた主力ユーザーが早期に回復し、主力の工作機械・建設機械の需要回復による増産と建材・形鋼需要の回復及び、新規開発ユーザーの売上拡大や導電性塗料の特需による出荷量の増加により、売上は増加いたしました。

建築塗料は、東日本大震災の復興需要や積極的な指名活動を展開した結果、新規受注を獲得することが出来、また主力ユーザー向けの新製品の出荷量も増加し、売上は増加いたしました。

防食塗料は東日本大震災の影響による需要減があり、特に公共需要の新設橋梁向け出荷の低迷が大きかったものの、本四架橋をはじめとする橋梁メンテナンスが堅調に推移いたしました。

さらには、耐候性鋼表面処理剤が大型工事物件の進捗により出荷量が大幅に伸び、売上は増加いたしました。

道路施設用塗料はすべり止め材と段差修正材は好調を持続しましたが、公共予算の減少の影響を受け、特に西日本地域でのカラー舗装材及びペイントライナーが低調となり、売上は減少いたしました。

軌道材料製品については、道床安定剤及びスラブ補修材が西日本地域では好調に推移しましたが、東日本地域で主力ユーザーの予算削減による需要の減少を受け、出荷量が低調となり、売上は減少いたしました。

自動車用塗料は、震災で壊滅的な打撃を受けたサプライチェーンが、その後回復基調に入り、それまでの生産量の減少を取り戻すため増産体制に入り、出荷量が順調に伸びてきたものの、震災直後の生産休止による出荷量の減少が響き、売上は減少いたしました。

この結果、塗料事業の売上高は15,080百万円、セグメント利益は635百万円となりました。

（化成品事業）

受託生産している、化成品事業の売上高は1,278百万円、セグメント損失は４百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形および売掛金が前連結会計年度末に比べ832百万円、商品及び製品が285百万円増加し、有形固定資産が132百万円減少したこと等により33,777百万円（前連結会計年度末比812百万円増）となりました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債は、支払手形及び買掛金が947百万円、長期借入金が790百万円増加し、短期借入金が983百万円、再評価に係る繰延税金負債が639百万円減少したこと等により20,402百万円（前連結会計年度末比44百万円増）となりました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、土地再評価差額金が639百万円、利益剰余金が137百万円増加したこと等により13,374百万円（前連結会計年度末比767百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期(平成23年４月１日～平成24年3月31日)の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表しました業績予想に変更はございません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

減価償却方法の変更

親会社及び連結子会社の建物以外の有形固定資産については、従来定率法により償却しておりましたが、第１四半期連結累計期間より定額法に変更しております。これは、当社のその他の関係会社である住友化学株式会社の会計方針の変更を契機として見直した結果、当社グループの主要な製造設備については、今後長期的かつ安定的な稼働率が見込まれるため、定額法に変更したものであります。

これにより、従来の方法に比べて、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ36百万円増加しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,544	1,576
受取手形及び売掛金	7,061	7,893
商品及び製品	1,528	1,813
原材料及び貯蔵品	677	640
その他	297	252
貸倒引当金	△32	△35
流動資産合計	11,075	12,141
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,701	2,559
機械装置及び運搬具（純額）	578	585
土地	16,456	16,456
その他（純額）	205	208
有形固定資産合計	19,942	19,809
無形固定資産	462	434
投資その他の資産		
投資有価証券	878	822
その他	607	598
貸倒引当金	△1	△29
投資その他の資産合計	1,484	1,391
固定資産合計	21,889	21,635
資産合計	32,965	33,777
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,995	6,943
短期借入金	4,872	3,889
未払法人税等	232	102
賞与引当金	191	93
その他	751	746
流動負債合計	12,044	11,775
固定負債		
長期借入金	1,565	2,355
再評価に係る繰延税金負債	5,114	4,475
退職給付引当金	955	1,132
役員退職慰労引当金	9	11
負ののれん	9	4
その他	660	648
固定負債合計	8,313	8,627
負債合計	20,357	20,402

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255	2,255
資本剰余金	585	585
利益剰余金	2,809	2,947
自己株式	△2	△2
株主資本合計	5,648	5,785
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	△0
土地再評価差額金	6,725	7,364
為替換算調整勘定	△72	△108
その他の包括利益累計額合計	6,666	7,255
少数株主持分	292	333
純資産合計	12,607	13,374
負債純資産合計	32,965	33,777

(2)　【四半期連結損益及び包括利益計算書】
【第３四半期連結累計期間】

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	15,537	16,358
売上原価	12,312	12,882
売上総利益	3,225	3,476
販売費及び一般管理費		
発送費	392	410
広告宣伝費及び販売促進費	89	75
従業員給料及び手当	762	838
賞与引当金繰入額	41	45
退職給付費用	164	188
減価償却費	85	124
試験研究費	131	121
その他	1,042	1,103
販売費及び一般管理費合計	2,711	2,908
営業利益	513	567
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	8	10
受取賃貸料	29	24
持分法による投資利益	111	55
その他	30	21
営業外収益合計	179	111
営業外費用		
支払利息	56	41
その他	5	6
営業外費用合計	61	48
経常利益	631	630
特別損失		
固定資産売却損	1	－
固定資産除却損	8	6
投資有価証券評価損	－	19
ゴルフ会員権評価損	6	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	54	－
特別損失合計	69	25
税金等調整前四半期純利益	561	604
法人税等	203	288
少数株主損益調整前四半期純利益	358	316
少数株主利益	44	54
四半期純利益	314	261

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主利益	44	54
少数株主損益調整前四半期純利益	358	316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	△14
土地再評価差額金	－	639
持分法適用会社に対する持分相当額	△15	△35
その他の包括利益合計	△25	588
四半期包括利益	333	904
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	289	850
少数株主に係る四半期包括利益	44	54

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	14,224	1,313	15,537	15,537
セグメント利益	607	24	631	631

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　益	金　額
報告セグメント計	631
四半期連結損益計算書の経常利益	631

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	15,080	1,278	16,358	16,358
セグメント利益又は損失（△）	635	△4	630	630

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　益	金　額
報告セグメント計	630
四半期連結損益計算書の経常利益	630

3　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第３四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

該当事項はありません。